

事務事業名		成人式の開催事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業		
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 不詳 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
	施策名	06 ともに支え合う地域づくりの推進				
	基本事業名	05 青少年健全育成の推進				
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 10 04 01 04 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)		
所属	部課名	協働まちづくり部生涯学習課		全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0		
	課長名	山岸 健悦郎				
	係名	生涯学習係	電話			0192-27-3111
	担当者	松田 ほのか	内線			277
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・成人の門出を祝い飛躍を祈念するとともに、成人としての自覚を啓発するため、新成人による実行委員会を組織し、成人式を開催する。 ・主な業務は、実行委員会の委員選出(市内在住の新成人者の情報収集、出身中学校ごとに2～3名程度個別依頼)、実行委員会の開催(委員約20名、3回開催)、式典の準備(新成人のリストアップ、案内状の送付、来賓への案内、記念品の配布、パンフレットの作成、駐車場整理委託)、特設ホームページの開設、新成人の受付(委員)、進行管理。 ・事業費は、成人者記念品代、パンフレット印刷費、花代、ホームページ開設委託費、駐車場整理委託費などに支出される。 ・民法改正により、令和4年4月1日から成年年齢が18歳となることから、令和4年度からは「二十歳のつどい」として、これまでどおり開催する。						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 成人式実行委員会の開催、記念行事の実施、記念品の配布、成人式の開催、特設ホームページ開設等、昨年度(令和2年度)成人者への対応 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 成人式実行委員会の開催、記念行事の実施、記念品の配布、成人式の開催、特設ホームページ開設等	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 成人式実行委員会の開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 実行委員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 成人式実行委員会の開催回数	回	イ 実行委員数	人	ウ	
名称	単位								
ア 成人式実行委員会の開催回数	回								
イ 実行委員数	人								
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 新成人	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 新成人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 新成人数	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 新成人数	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 成人として、社会の一員である自覚をもたせる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 新成人の成人式出席率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 新成人の成人式出席率	%	シ		ス	
名称	単位								
サ 新成人の成人式出席率	%								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 社会のルールを身につける。 社会や地域のことを考え、社会に参加するようになる。									

(2) 総事業費・指標等の推移									
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	354	1,137	624	624	624	624
		事業費計(A)	千円	354	1,137	624	624	624	624
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	400	600	500	500	500	500
		人件費計(B)	千円	1,600	2,400	2,000	2,000	2,000	2,000
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,954	3,537	2,624	2,624	2,624	2,624
		⑤ 活動指標	ア	回	3	3	3	3	3
	イ	人	19	19	20	20	20	20	
	ウ								
⑥ 対象指標	カ	人	372	359	330	300	300	300	
	キ								
	ク								
⑦ 成果指標	サ	%	-	75.2	80.0	80.0	80.0	80.0	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0833	事務事業名	成人式の開催事業
--------	------	-------	----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和27年、大船渡市市制施行以来、毎年開催してきている。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の少子化に伴い、成人式対象者が減少傾向にある。</li> <li>・令和4年4月1日から成人年齢が18歳に引き下げられることに伴い、成人式のあり方を再検討し、令和4年度から、対象年齢を20歳のままとし、行事名称を「二十歳のつどい」に変更する予定。</li> <li>・令和3年度から新型コロナウイルス感染症の影響を配慮し、特設ホームページを開設し、遠隔地等の理由により参集が困難な方も参加できる環境を整備した。</li> </ul>
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	少子化と大学等への進学率上昇により、市内に在住している新成人数は減少しており実行委員の確保が困難になっている。着付け等により早朝からの準備となり、新成人の負担が大きいことから、午後の開催を求められ、令和2年の成人式から午後開催としたが、概ね好評である。新型コロナウイルス感染症の影響で令和4年の式典の開催が危惧されたが、開催することができ、新成人から喜びと感謝の声が多数あった。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	成人式に出席することで、社会の一員としての自覚をもってもらうことは、社会のルールを身につけ、社会や地域のことを考えるようになってもらう機会でもあるため、結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	実行委員会だけでは開催は難しく、実質的には市が行わなければ実施することできない。市の施策目的である青少年の健全育成にも結びつくため、公共関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	対象は、毎年度20歳を迎える者であり、適切である。意図についても、次世代を担う青年の飛躍を祈念し、成人としての自覚をもってもらうことであり、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	新成人の対象人数が毎年度若干の減少傾向にあるが、新成人の成人式への出席率は高い率で推移しており、今後は、ふるさとへの意識付けを働きかける節目の年として「20歳」を迎える時を祝うことで、参加者の増加と、ふるさとへの愛着心向上につなげる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	成人としての自覚を持たせるための類似事業がなく、成人者の家族も成人式を人生の大きな節目と考えているため、廃止した場合の影響は大きい。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	経費はパンフレットやホームページ開設等の経常的な経費であることから、削減余地がない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	業務の大半はほぼ1名の職員が担当しており、所要時間の削減余地はない。当日の会場整理や進行管理には、他の市職員の動員も必要であり、業務時間数の削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	成人式は毎年開催しており、その年に20歳となる者が対象であることから、受益機会は適正である。また、ここ数年、出身中学校ごとに撮影する記念写真を記念品とし、出席した新成人にのみ配布しており、公平・公正である。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	例年、高い参加率で、式典中の態度等も概ね良好である。オンラインの活用等、コロナ禍における新たな工夫等も取り入れながら継続していく必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年に成人年齢が18歳となることから、今後の成人式のあり方について、ふるさとへの意識付けやその節目の時期設定等と併せて検討する。</li> <li>・少子化の進行と大学等への進学率上昇による、市内在住の新成人数減少に伴い、成人式実行委員会委員の確保が課題であり、会議のリモート開催等により、遠方に住んでいる新成人の参加を検討する。</li> <li>・コロナ禍における式典の開催方法について、実行委員会委員の意見を反映しながら、特設ホームページのさらなる活用等も併せて検討する。</li> </ul>		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	令和4年度から成人年齢が18歳に引き下げられることから、対象者年齢等について検討し、これまでどおり「20歳」とした上で、名称を成人式から「二十歳のつどい」に変更して実施することとした。基本的には、現状のとおりとするが、実行委員会委員については、市外在住者の参加について検討を進める必要がある。併せて、18歳成人者への対応にも取り組み、高校卒業等と同時に転出する若者に対するふるさとへの意識付けを行う。